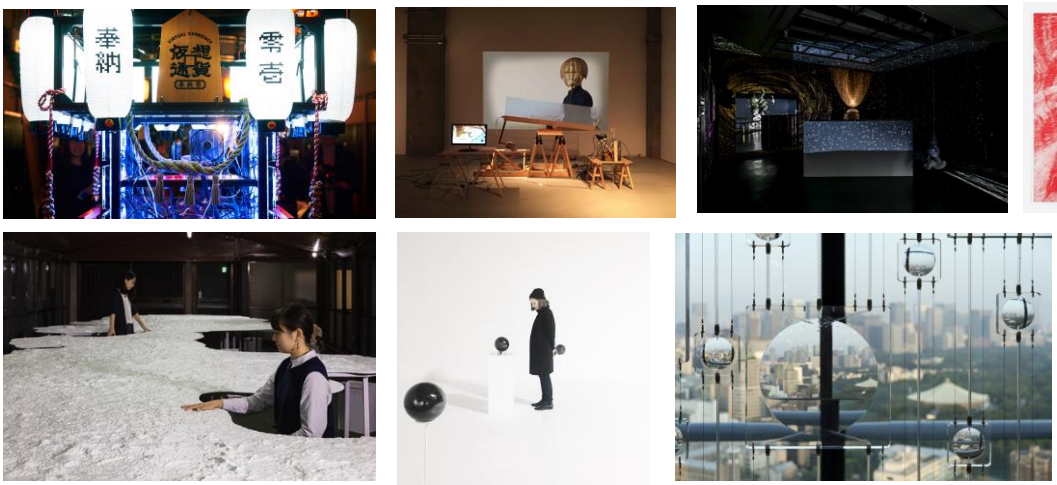
STEAM THINKING － 未来を創るアート京都からの挑戦
国際アートコンペティション スタートアップ展の開催について

STEAM THINKING – Art to Create the Future Challenge from Kyoto Art Competition Start Up Exhibition

2020年3月21日（土）～ 29日（日）　*3月23日（月）は休館　　京都市京セラ美術館 本館 南回廊2階



（上段左から）市原えつこ＋渡井大己《サーバー神輿》[仮想通貨奉納祭より]（2019年　撮影：黒羽政士）、
久保ガエタン 個展「僕の体が僕の実験室です。あるいはそれを地球偶然管理局と呼ぶ。」より展覧会風景 （2017年、Courtesy of the artist and Kodama Gallery ）、林勇気《ATOM -i》（2018年、撮影：植松琢磨）、大和美緒《REPETITION RED(dot)15》（2016年、撮影：麥生田兵吾）、（下段左から）森太三《起伏のテーブル》（2016年、撮影：麥生田兵吾）、八木良太《Sound Sphere》（2011年）、鈴木太朗《Liquidscape》（2014年、制作：Atelier OMOYA）

「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマとし、文化芸術の新たな可能性と価値の創出を目指すKYOTO STEAM－世界文化交流祭－のコアプログラムとして、次世代の芸術家と企業等に向けた国際的なアートコンペティションを2021年3月に実施します。

本展は、そのコンペティションに向けて開催されるものです。

気鋭のアーティストとの独自性の高い開発や先進的な研究を行う企業・研究機関がコラボレーションし制作した作品を、リニューアルオープンする京都市京セラ美術館で展覧します。

出展アーティスト × 企業・研究機関

市原えつこ× デジタルハリウッド大学院
久保ガエタン × 株式会社コトブキ･株式会社タウンアート
鈴木太朗 × 有限会社フクオカ機業
林勇気 × 京都大学iPS細胞研究所（CiRA）
森太三 × 太陽工業株式会社
八木良太 × 美濃商事株式会社
大和美緒 × 株式会社島津製作所

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

京都市

文化庁
平成31年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

公式WEB

プレスリリース　STEAM THINKING－未来を創る アート京都からの挑戦
国際アートコンペティション スタートアップ展　2019年12月6日

開催の目的

STEMという言葉が脚光を浴びるようになったのは、2000年代のことでした。Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）といった理数系4領域の頭文字を取ったこの造語は、テクノロジーが進展した社会の中で求められるようになった「領域横断的な思考」を示す標語として、特に教育分野において用いられました。

そして今日、そのSTEMに、A、すなわちArts（芸術）を加えたSTEAMという言葉が脚光を浴びつつあります。科学的に思考し、そこで得られた知見を社会に還元することのみならず、科学とアートが融合することで新たな価値を創出することが、次なる可能性として予見されているのです。

では、アートと科学の望ましい関係性とはどのようなものなのでしょうか？私たちは、STEMとArtsをどう結びつけ、どのようなSTEAMを夢見れば良いのでしょうか？

本展は、これらの問いに回答を与えるために、アーティストと企業・研究機関のコラボレーションという方法を取ります。企業や研究機関が研究開発してきた素材や技術をアーティストが活用し、作品を制作する。こうしたコラボレーションを通して、企業や研究機関の持つ科学的な知見がアーティストを触発し、新たな発想を生むことや、アーティストの手によって企業や研究機関の持つ科学的な知見に新たな光が与えられることを期待しているのです。

「アート×サイエンス・テクノロジー」の可能性を切り拓くことを目指して、いま、ここ京都から始まる新しい挑戦に、ぜひご期待ください。

開催概要

展覧会名：STEAM THINKING－未来を創るアート京都からの挑戦
　　国際アートコンペティション スタートアップ展
会期：2020年3月21日（土）～ 29日（日）9：00－17：00（入館は16：30まで）
　※ 休館日：3月23日（月）
会場：京都市京セラ美術館 本館 南回廊2階
観覧料：無料
出展アーティスト×企業・研究所：
　市原えつこ × デジタルハリウッド大学院
　久保ガエタン × 株式会社コトブキ･株式会社タウンアート
　鈴木太朗 × 有限会社フクオカ機業
　林勇気 × 京都大学iPS細胞研究所（CiRA）
　森太三 × 太陽工業株式会社
　八木良太 × 美濃商事株式会社
　大和美緒 × 株式会社島津製作所

主催：KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
協賛：NISSHA株式会社 / 株式会社島津製作所
助成：一般財団法人ニッシャ印刷文化振興財団

問合せ：KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
Executive Committee of KYOTO STEAM -International Arts × Science Festival-
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
TEL：075-752-2212　FAX：075-752-2233　MAIL：info@kyoto-steam.org
平日（月曜日～金曜日）8:45～17:30　※祝日／年末年始（12月29日～1月3日）を除く

■ 展覧会のみどころ

アーティストと企業・研究機関が「創造力」を融合させ制作した作品を展示

アーティストと企業・研究機関のコラボレーション作品を展覧するという日本でも類を見ない試みである本展では、アーティストと企業・研究機関がお互いを触発しながら、それぞれのアーティスト単独では作り得なかった作品をご覧いただけます。

多様なアーティストと企業・研究機関のコラボレーション7組の作品を展覧

美術家、映像作家、メディア・アーティスト、インスタレーション作家といった多様なジャンルの作家たちと、伝統産業から最先端の研究機関までの様々な分野の企業・研究機関のコラボレーションによって、現代的な表現の広がりを体感できる多様な作品を体感いただけます。

美術館ならではの体験型の展示

リニューアルオープンする京都市京セラ美術館本館の南回廊2階約1000㎡を会場に、作品の魅力を全身で体感できる大型のインスタレーション作品や映像作品等を展示します。

■ 参考作品

　鈴木太朗と有限会社フクオカ機業は、他のコラボレーションに先立ち、2018年度よりコラボレーションを行っています。その2018年度の成果として、《水を織る－西陣織の新たなる表現－》を制作しました。
　この作品は、西陣織に使われる艶のある絹糸を用いたたて糸に、よこ糸として透明なチューブを手織りで織り込むことで作られた作品です。チューブは2種類の柄として織り込まれており、青色の水が流れると、青海波柄が浮かび、徐々に消えていくと同時に橙色の水が流れ、亀甲柄が浮かび上がっては消えていきます。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

京都市
文化庁
平成31年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業
公式WEB

■出展アーティスト × 企業・研究機関について

市原えつこ×デジタルハリウッド大学院

市原えつこ（1988年生まれ）は、日本的な文化・習慣・信仰を独自の観点で読み解き、テクノロジーを用いて新しい切り口を示す作品を制作するメディア・アーティスト。本展では、世界中からビットコインの奉納ができるサーバー搭載型神輿など、神事を現代解釈したプロジェクト「仮想通貨奉納祭」をデジタルハリウッド大学院の技術協力のもと拡張する。

久保ガエタン × 株式会社コトブキ･株式会社タウンアート

久保ガエタン（1988 年生まれ）は 、オカルトなどの不可視な事象を手がかりとしてインスタレーション作品を制作する美術作家 。本展では、パブリックスペースに置かれるストリートファニチャーや遊具などを手掛ける株式会社コトブキの遊具を用い、パブリックアートをはじめとする公共空間へのアートプロデュースを行う株式会社タウンアートがコーディネートしながら、インスタレーション作品を制作予定。

鈴木太朗 × 有限会社フクオカ機業

鈴木太朗（1973年生まれ）は、自然界の物理現象の美しさをモチーフに、時間軸的変化を表現要素に取り入れた作品を制作するメディア・アーティスト。本展では京都西陣の西陣織製造企業である有限会社フクオカ機業とコラボレーションし、2018年度に制作した《水を織る－西陣織の新たなる表現－》を発展した作品を制作予定。

林勇気 × 京都大学iPS細胞研究所 （CiRA）

林勇気（1976年生まれ）は、自身で撮影した膨大な量の写真を用いて制作するアニメーションやデジタル画像の共有や流通・消費について表現する映像作品を制作する映像作家。本展での京都大学iPS細胞研究所CiRAとのコラボレーションにおいては、同研究所教職員より、iPS細胞の実験映像やiPS細胞技術、再生医療をめぐる倫理的な問題に関する知見の提供を受け、生命倫理をテーマとする映像作品を制作予定。

森太三 × 太陽工業株式会社

森太三（1974年生まれ）は、個人の身体感覚によって生みだした小さな形を集積させて、展示空間内に架空の風景を表出させる作品を制作する美術家。本展では、ドーム型スポーツ施設やテント倉庫、膜天井施設など、膜構造建築物を製造する太陽工業株式会社より「膜」素材の提供を受け、展示室内に山状の巨大なインスタレーション作品を制作予定。

（次ページに続く）

■出展アーティスト × 企業・研究機関について

八木良太 × 美濃商事株式会社

八木良太（1980年生まれ）は、既製品を用いて、音響作品やオブジェ、映像作品を手掛けるメディア・アーティスト。本展では、スクリーン印刷資機材の総合メーカーである美濃商事株式会社が開発した、3D画像を平面状に印刷する「ミノハート3D」を用い、立体作品を制作予定。

大和美緒 × 株式会社島津製作所

大和美緒（1990年生まれ）は、点の連なりや一定の曲線など、ある単位、パターンの反復によって画面を覆い尽くす作品を制作する画家。本展では、計測機器、医用機器などを製造する株式会社島津製作所とコラボレーションし、同社が提供する分析機器及び光学機器を用いた、大和自身にとって初めてとなる映像インスタレーションを制作予定。

■展覧会関連プログラムについて

展覧会期間中、展覧会会場において、ギャラリートーク等の開催を予定しています。日時・出演者等の詳細が決まりましたら、KYOTO STEAM－世界文化交流祭－公式WEBサイト（https://kyoto-steam.com/）に掲載します。

■同時開催

STEAM THINKING－未来を創るアート京都からの挑戦　アート×サイエンス GIG

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－の人材育成事業として、今年度、京都市内の3つの芸術系大学を拠点大学に、企業・研究機関の技術や素材を活用したワークショップ「STEAM THINKING LABO」を開催しています。「スタートアップ」展と同時開催するこの「アート×サイエンス GIG」は、そのワークショップでの成果作品や「KYOTO STEAM LABO」の協力企業や拠点大学の持つ技術や研究等について紹介するほか、アーティスト、研究者、バイヤー、企業家など多様な人材によるワークショップを行います。

会期：2020年3月21日（土）～29日（日）9：00－17：00（入館は16：30まで）
※ 休館日：3月23日（月）
会場：京都市京セラ美術館 本館 南回廊2階
拠点大学：京都工芸繊維大学／京都市立芸術大学／京都造形芸術大学
観覧料：無料

＊会期中に開催するワークショップ等のイベントについては、詳細が決まりましたら、KYOTO STEAM－世界文化交流祭－公式WEBサイト（https://kyoto-steam.com/）に掲載します。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

京都市

文化庁
平成31年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

公式WEB

■ KYOTO STEAM－世界文化交流祭－について

「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－」は、「KYOTO CULTIVATES PROJECT」の理念（京都は耕す、育む、磨く）を体現し、京都賞が先駆的に示してきた人類の未来への願いとも共鳴した、アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに開催する新しい文化・芸術の祭典です。

京都岡崎を中心に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会前の2020年3月に第1回目となるフェスティバルを開催します。

※STEAMとは…Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Arts（芸術）、Mathematics（数学）

■ 画像の提供について

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－の広報用画像を貸し出しております。使用を希望される場合は、公式WEBの使用申込書に必要事項を記載のうえ、メールでKYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会までご連絡ください。申込受付後、3日（祝休日を除く）以内に広報用画像をダウンロードできるURLとパスワードを、メールにてお知らせします。3日間を過ぎても連絡が無い場合は、再度ご連絡頂きますようお願いいたします。

また、記事等に広報用画像を掲載される際には、作家名や作品名等を確認しますので、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に広報担当までご提出ください。3日（祝休日を除く）程度で内容を確認のうえご連絡します。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－公式WEBサイト：https://kyoto-steam.com/

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

京都市

文化庁
平成31年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

公式WEB